



【自然・環境保全・エコ】

能美の炭焼き職人は
循環型社会のトップランナー

安田 宏三 やすた こうぞう

火釜町在住

- ◆ 能美の里山を拠点に25年間炭作りを続けています。
- ◆ 子どもたちが自然の循環やつながりを体感できるよう小学生を対象にした炭の窯詰め、窯出しを体験できる場をつくり、指導しています

安田さんの

ここがすげえ!

- 脱サラして炭焼きの世界に入り、25年間活動を続けています。
- 茶道で使うお茶炭としても使われる美しい菊炭を作っています。
- コナラ、ミズナラ、クヌギなどを炭にする過程で生まれる、良質の木酢液が人気です。
- File-2で登場したお炭会のお師匠さんです。



(上)自作の炭焼き小屋で (中)木材を炭にする過程で生まれる木酢液(もくさくえき)。「炭作りは何一つ無駄がない循環型社会を実感できる」と安田さん (下)菊花模様の切り口が美しいお茶炭

認定登録:平成27年3月



「すげえ人」に講演・公演・指導などを依頼したい時は、
能美市市民協働まちづくりセンター(のみにこ)へご連絡ください。
TEL(0761)46-5746 メールアドレス:nomi-kyodo@topaz.ocn.ne.jp
※講演、公演、指導などの費用は「すげえ人」と直接ご相談ください。